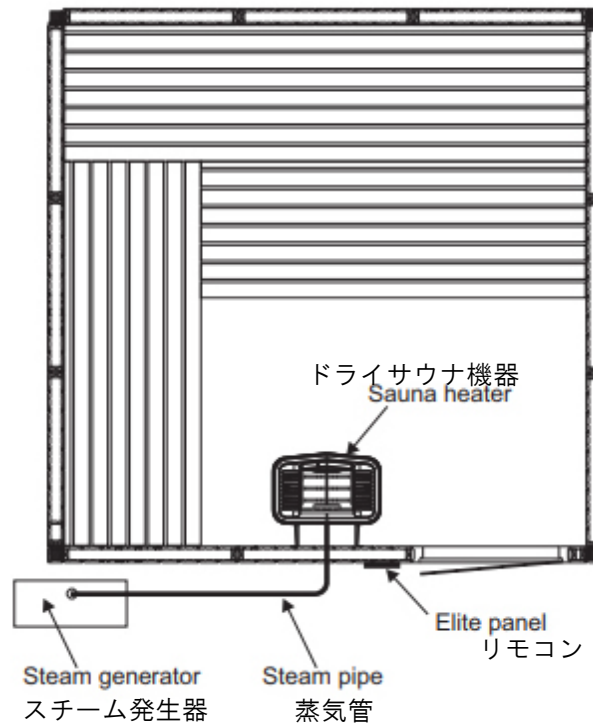


## TYLARIUM 施工説明書

TYLARIUM の装置とは…



上図のように木製のサウナルームにドライサウナ機器とスチーム発生器を設置し、温度と湿度をコントロールしつつサウナルームを温める装置になります。

2つの機器が存在しますが、一つのリモコンで制御するので安全に温度と湿度の管理をする事が出来ます。

※TYLARIUM の部屋は湿度が高くなる為、かなり熱い部屋になり、サウナルームの排気口から出る空気の温度も高くなります。前室が冷たい場合は壁や天井が結露するおそれがあります。(特に屋外に面した窓ガラスは結露します)

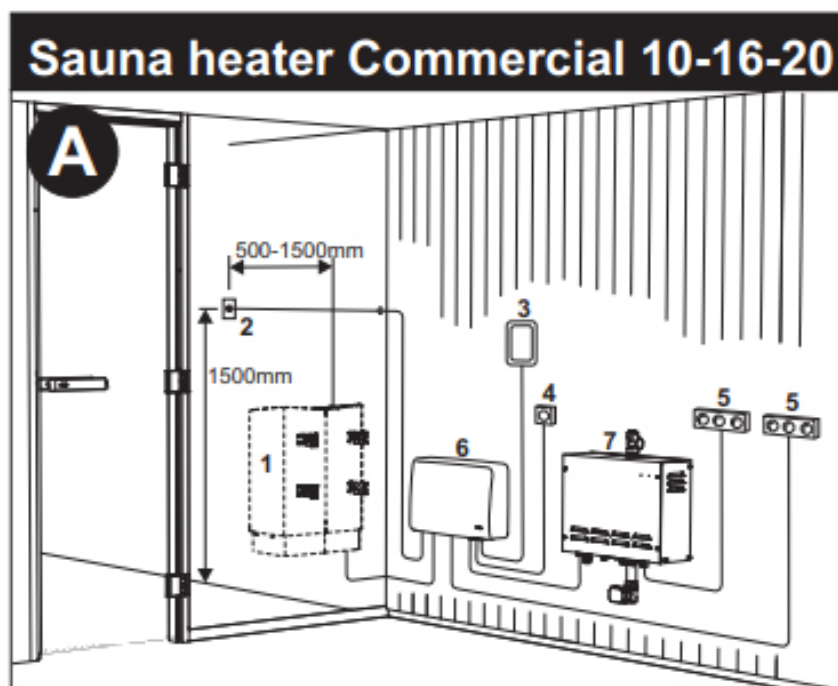
TYLARIUM の部屋は浴室の一角に置くなど、前室が防水加工のある部屋に設置される事をお勧めします。

サウナルーム自体がガラス面が多い場合もガラス部分が結露するおそれもあります。

サウナルームの大きさによって設置して頂く機器や必要な装置が異なります。

- ・ 12 立米以上の部屋の場合はこちらの資料をご参照ください。
- ・ 12 立米以下の部屋の場合はティラリウムホームの資料をご参照ください。

## 10. 7KW タイプ以上の部屋の場合



・ドライサウナルームの施工に関する事はドライサウナ共通重要事項をご参照ください。給排気口の設置方法は TYLARIUM の場合も同じです。

・ドライサウナ機器の設置に関する事は SENSE COMMERCIAL10.7-20KW 機器用の仕様書をご参照ください。

・スチーム発生器 STEAM COMMERCIAL9KW 以上に関する設置方法は STEAM COMMERCIAL 仕様書をご参照ください。  
機器の離隔や給排水の設備、結線方法などをご確認ください。

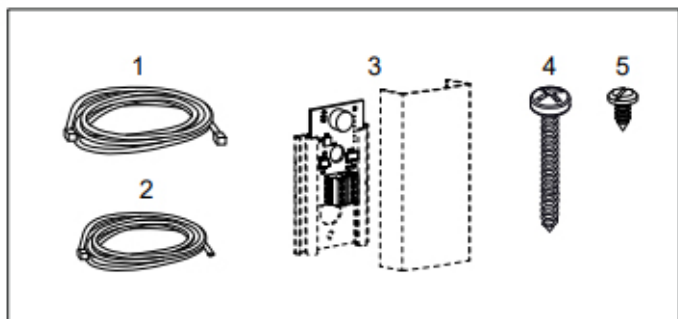
通常のドライサウナ機器の設置と違う点は以下の 2 点になります。

・温湿度センサーは床から 1500mmの位置に設置、機器からは 500～1500mm離して設置してください。

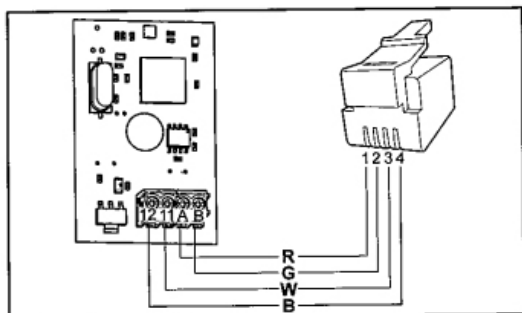
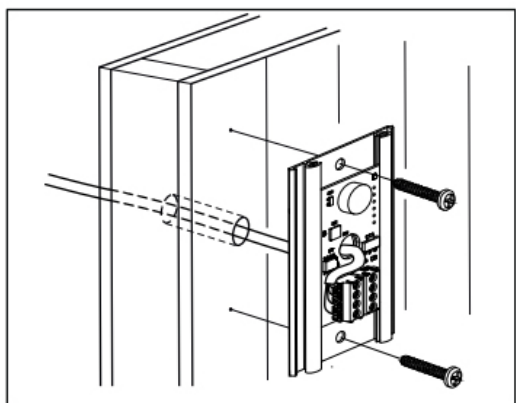
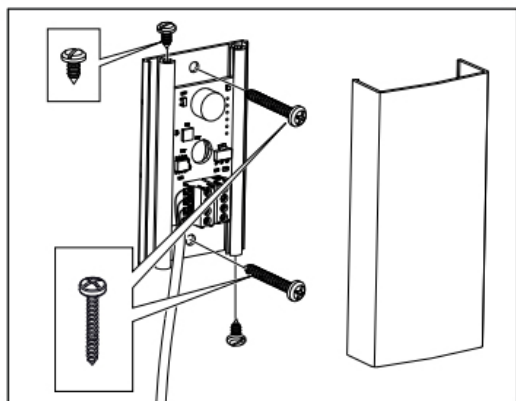
・ヒーターの下には排水設備が必要になります。

**サウナルームの施工要領は必ずドライサウナ共通重要事項を確認してください。  
給排気口をマニュアル通りの場所に設置していない場合は機器の安全装置が作動し、運転が出来ません。必ずマニュアル通りにサウナルームを作って頂くのが条件になります。**

## TYLARIUM キットの内容物と温湿度センサー設置方法



1. 温湿度センサーケーブル 4m  
リレイボックスと温湿度センサーを繋ぐケーブルです。
2. シンクケーブル 3m  
リレイボックスとスチーム発生器を繋ぐケーブルです。
3. 温湿度センサー本体
4. 温湿度センサーをとめるビス
5. 基盤とめビス



・温湿度センサーの中の基盤は左図のように壁に設置をお願いいたします。

・温湿度センサーのケーブルと中の基盤を4本の線で結線してください。

1番から出ている赤線は基盤の A へ

2番から出ている緑線は基盤の B へ

3番から出ている白線は基盤の 11 へ

4番から出ている黒線は基盤の 12 へお繋ぎください。

A と B の結線が見間違いやすい図になっております。ご注意ください。

## DIP SWITCH の設定



TYLARIUM を設置する場合はリレイボックスの中の基盤とスチーム発生器の基盤の DIP SWITCH を上の図の様にピンを設定してください。

・リレイボックスの基盤は 5 番・6 番のピンだけ下げてください。

(最初から 5・6 番は下がっていますが、結線の際にご確認ください)

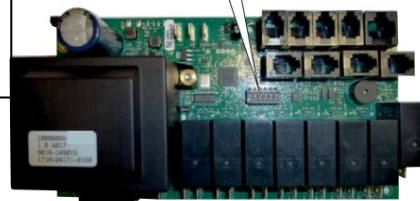
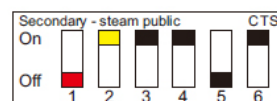
・スチーム発生器の基盤は 1 番と 5 番のピンだけ下げてください。

(スチーム発生器(STEAM COMMERCIAL9KW か 12KW)は初期設定が 5 番だけ下がっているの、DIP SWITCH の 1 番も下げてください)

プリント基盤の拡大図(右の図)

(バージョンによってついている部品の色が違う場合があります)

DIP SWITCH はかなり小さいですが、プリント基盤の真ん中にあります。



基本の結線はそれぞれの機器の仕様書をご参照ください。

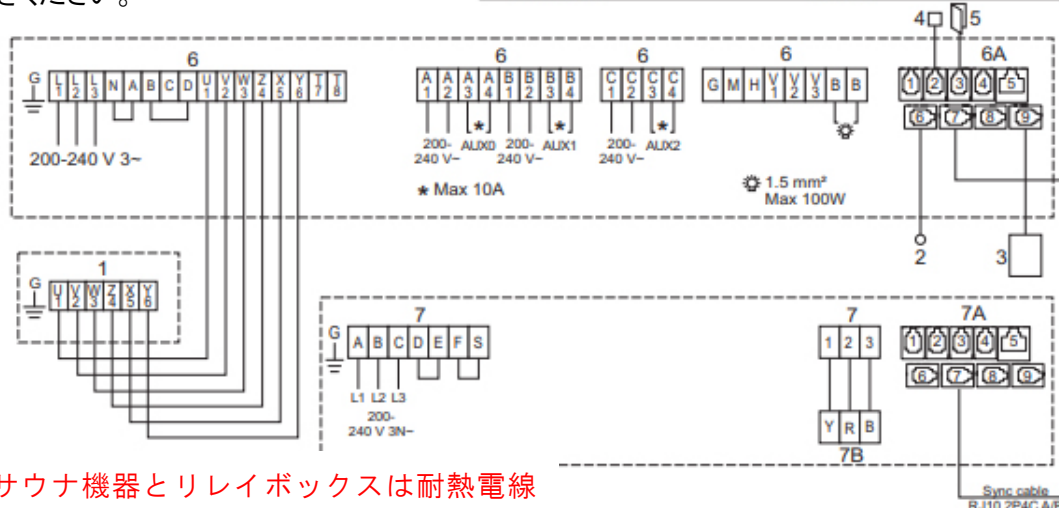
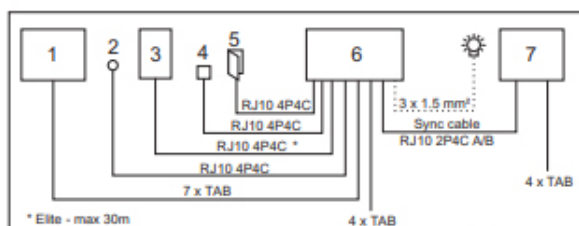
違う点は以下の3点です。

・シンクケーブルをリレイボックスの 7 番とスチーム発生器の 7 番に繋いでください。

・温湿度センサーはリレイボックスの 6 番に繋いでください。

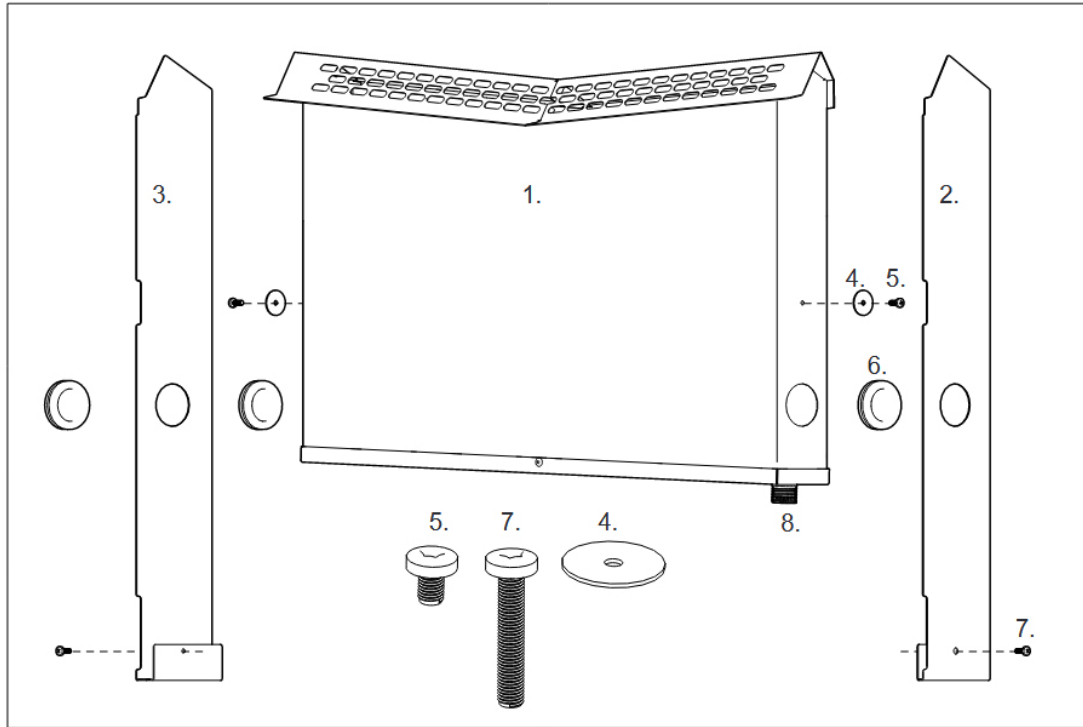
・ELITE リモコンケーブルはリレイボックスの 9 番に繋ぎください。

## モジュラージャックのつなぎ方



ドライサウナ機器とリレイボックスは耐熱電線 (3.5スケアミリメートル) で繋いでください。

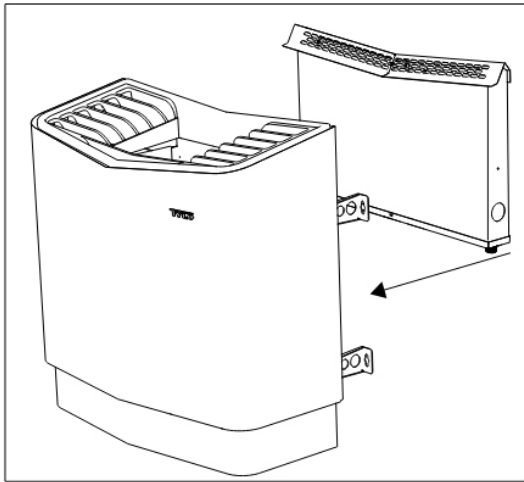
## TYLARIUM 背面タンクの設置方法



### 付属品タンクの内容物

1. タンク本体	1 個
2. 側面カバー	1 個
3. 側面カバー	1 個
4. ビス付属品	2 個
5. ビス 8mm	2 個
6. 蒸気管の穴を塞ぐキャップ	2 個
7. ビス 25mm	3 個
8. 15Aの排水口	2 個

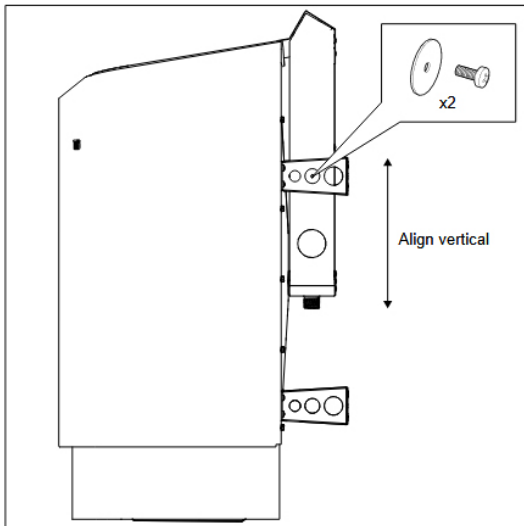
※排水管は入っておりません。



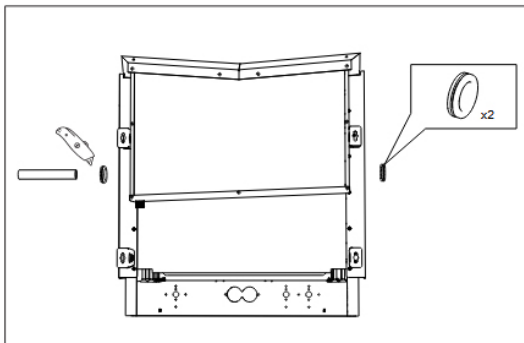
タンクを取りつける前に蒸気配管の位置、排水管の位置などをお決め頂き、ドライサウナヒーターを設置する位置をお決めください。

左図のようにヒーターにタンクを設置してください。

ひっかけるように設置してください。

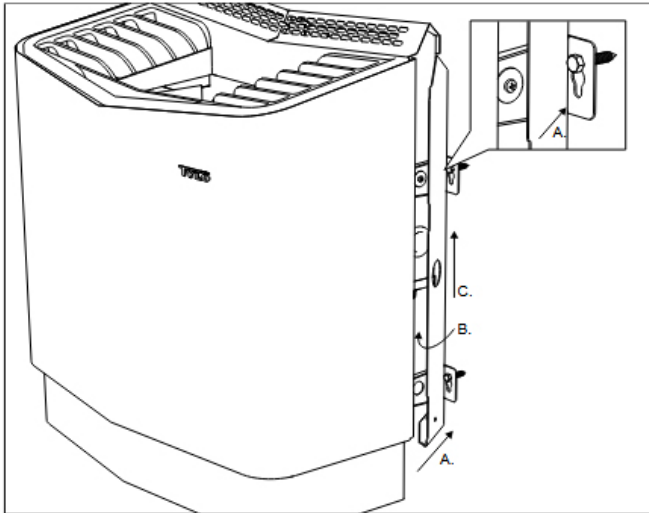


付属品のビスでヒーターのブラケットの穴を挟むようにとめてください。

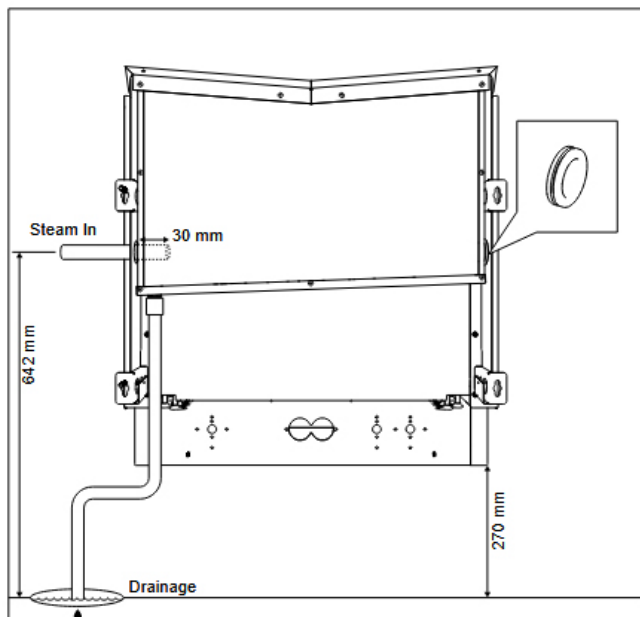
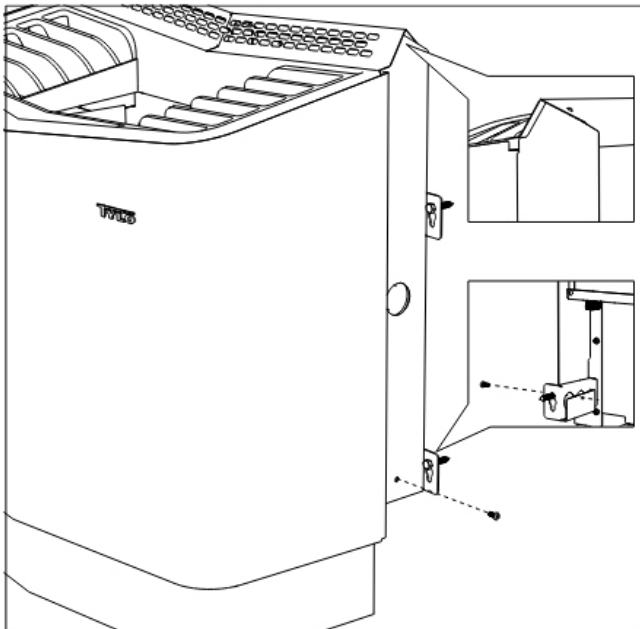


左図のように蒸気管が入る方は蒸気管のサイズ外径 22~28mmに合うようにキャップに穴を開けて、もう片方はキャップをして穴を塞いでください。

蒸気配管とは反対の穴をふさがないと、蒸気が上にいかず、横穴から漏れてしまいます。



左図のように側面カバーをヒーターのブラケットの穴に通してビスでとめてください。



- ・ 左図のように蒸気管はキャップから 30mm タンクの中に入るように設置。
- ・ 反対側の蒸気管の穴が塞がっているかを確認。
- ・ 排水管を接続してください。

型式	TYLARIUM
出力	ドライサウナ 10.7kW / 16kW/20kW+スチーム 9kW/12kW
電源	三相 200V
適応容積	10～18 立米(ドライサウナヒーター10.5KW+スチーム発生器 9KW) 15～35 立米(ドライサウナヒーター16KW+スチーム発生器 12KW) 22～43 立米(ドライサウナヒーター20KW+スチーム発生器 12KW)
操作パネル	ELITE リモコン

ヒータータイプ		ドライヒーター10.7kW		ドライヒーター16kW		ドライヒーター20kW	
		ドライ	スチーム	ドライ	スチーム	ドライ	スチーム
kW		10.7kW	9kW	16kW	12kW	20kW	12kW
三相 200V	amp	31	26	47	35	58	35
	mm2	8	5.5	14	8	22	8

サウナヒーター本体重量 10.7kW / 16kW / 20kW/共に 32.0kg

背面タンク重量:5.0kg

サウナストーン: 約 25.0kg

STEAM COMMERCIAL9～12KW 機器重量 21kg

## 電源の入れ方

全ての結線が終わりましたら下記の手順で電源をいれてください。

1. スチーム発生器の電源を入れてください。(0:オフ 1:オン)
2. リレイボックスの電源を入れて下さい。(0:オフ 1:オン)

その後はELITE リモコンで操作をお願いいたします。

もしブレーカーが落ちたなど電源が切れた後、再度電源を入れる時も必ず

上記のようにスチーム発生器から電源を入れるようにしてください。

※リモコンの電源がつかない場合はどこか接続を間違えています。もう一度結線をご確認ください。

リモコンがついてもリモコン画面に湿度が出てこない場合はスチーム発生器の電源の入れ方の順番が間違えている、又はスチーム発生器の結線が間違えている可能性もあります。再度結線をご確認ください。



